

新たな時代が求める都市の姿は、経済情勢の変化や社会制度の変革に的確に対応し、限られた資源と多様な選択肢の中から、自らが選択し切り拓いていくことが求められています。

また、少子高齢社会の到来とともに、長期的な人口減少期を迎えた中で、居住の場として、経済活動の場として、さらには自己実現の場として、地域やまちが選ばれる時代となってきました。

こうした時代において、この光市がこれまで以上に「住みたいまち」として選ばれ、そして、「住んでよかったと思えるまち」として評価されるためには、画一的なまちづくりではなく、都市としてのアイデンティティを確立し、他市にない光市独自の都市ブランドを創出していくことが必要です。

このため、分野別政策の推進に加えて、選択と集中の観点から、本市の将来像を実現するために、特に優先すべき戦略的なプランを「ひかり未来戦略」として重点的に展開することにより、都市の課題の克服と地域の有位性の伸張を目指します。

人と自然がきらめく 生活創造都市

ひかり未来戦略

未来戦略Ⅰ おっぱい都市推進プラン

未来戦略Ⅱ 自然敬愛都市推進プラン

未来戦略Ⅲ 安全・安心都市推進プラン

未来戦略Ⅰ 『おっぱい都市推進プラン』

戦略の目標

子育て世代が夢や希望をもって子育てができ、子どもたちが父母と地域の愛情に包まれて生き生きと育つ「おっぱい都市宣言」のまち

戦略展開の方針

個人の人生観や結婚、出産に関する意識も多様化する中で、少子化のさらなる進行が懸念されており、核家族化や共働き世帯の増加により、地域や家庭における教育力が低下するなど、子育てに対する不安感がますます増大しています。

こうした中、本市では、他に例のない「おっぱい都市宣言」のまちとして、これまでの取り組みや充実した子育て環境を背景に、子育て世代が希望にあふれ、子どもたちが父母や地域の愛情に包まれて育つ環境を構築することにより、子育て世代が暮らしたいと思えるまちづくりを進めます。

このため、国・県の少子化対策に呼応しつつ、出産・育児・教育など、子育てに関する多様な施策を展開するとともに、第2次ベビーブーム世代(団塊ジュニア)が子育て期を迎える本計画期間を重点戦略期として、実効性の高い少子化対策を推進します。

また、子どもたちが新たな時代を生き抜き、日本の将来を切り拓いていく人材となるよう、確かな学力と心豊かな人間性を育むための教育環境の充実を進めます。

さらに、おっぱい都市基本構想を策定することにより、「おっぱい都市宣言」の理念をすべての市民が共有し、行政のみならず、地域や企業など、社会全体で子育てを応援し、支援します。

おっぱい都市宣言

- 1 私たちは、おっぱいをとおして、“母と子と父そして人にやさしいまち光”をつくります。
- 2 私たちは、おっぱいという胸のぬくもりの中で、子どもをしっかりと抱き、愛しみ、心豊かで健やかな輝く光っ子を育てます。
- 3 私たちは、すべての母親のおっぱいが、より豊かに赤ちゃんに与えられるよう皆で手助けします。
- 4 私たちは、おっぱいを尊び、偉大なる母を皆で守ります。

「おっぱい」何と温かく、優しい言葉でしょう。「おっぱい」をとおした母と子の穏やかなふれあいは、真に生きる力を持つ、心豊かでたくましい若者を育ててくれることでしょう。

そして、この若者たちが“母と子と父そして人にやさしいまち光”で子育てを楽しみながら、このまちに住み、まちとともに輝くことを夢みて、ここ光市を「おっぱい都市」とすることを宣言いたします。

平成17年6月30日

山口県光市議会

光市はこんなまちを目指します …私の夢・みんなの願い

施策の展開例

安心して子どもを生み育てています

初めての子どもなので、不安がいっぱいでしたが、市の保健師さんや子育て支援センターで知り合った先輩ママさんからも、いろんなアドバイスを受けて、安心して子どもを生むことができました。

【出産や子育て不安の解消】

- ▶ 施策① 妊娠・出産ケアシステムの充実と個別相談の充実
- ▶ 施策② 小児救急体制の充実
- ▶ 施策③ 新生児訪問事業の充実
- ▶ 施策④ 子育てサークルの育成・支援

保育の多様化が進んでいます

幼稚園や保育園の連携も進み、学校等でも放課後などに子どもを預けることができ、育児と仕事の両立ができるようになりました。

夫の会社でも、育児休暇が取れるようになり、そろそろ3人目の子どもを生もうかと考えています。

【育児への支援】

- ▶ 施策⑤ 幼保連携の促進と保育環境の充実
- ▶ 施策⑥ 放課後子どもプランの推進
- ▶ 施策⑦ 育児休業制度の普及など就労環境の整備
- ▶ 施策⑧ 食育の推進

地域で子育てを応援しています

僕の近所に怖いおじさんがいます。いつも叱られて嫌いでした。

でも、友達とけんかして悩んでいたら、父さんや母さんと一緒になって相談にのってくれて、今では、家族ぐるみでキャンプに行ったりしています。

僕は、おじさんが大好きです。

【子どもの育成と安全の確保】

- ▶ 施策⑨ ファミリーサポートセンター事業の拡充
- ▶ 施策⑩ 家庭・地域の教育力の向上
- ▶ 施策⑪ 児童虐待等の防止と相談連絡体制の構築
- ▶ 施策⑫ 地域における見守り活動の展開
- ▶ 施策⑬ 青少年の健全育成活動の展開

教育環境に恵まれたまちです

わが家では、「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組んで半年が経ち、最近、子どもとの会話が増えてきました。

学校では、2学期制を活かした総合学習や職場体験なども盛んで、いつのまにか、息子もたくましくなったようで、その瞳は夢と希望にあふれて、キラキラと輝いています。

【教育の充実】

- ▶ 施策⑭ 子どもの生きる力の育成といじめの根絶
- ▶ 施策⑮ 特色ある学校づくりの推進
- ▶ 施策⑯ キャリア教育の推進と社会への適応力の育成
- ▶ 施策⑰ 教師の教育力の向上
- ▶ 施策⑱ 学校の耐震化と教育環境の整備

子育て世代が住みたいまちです

「おっぱい都市宣言」ってなんだろうと思い、光市に住む友人に聞いてみました。産院や小児科医、素晴らしい教育環境、そして、子育て支援策や福祉制度が充実していて、「住むなら光市よ。」って言っていました。光市に家を建てようかなと真剣に考えています。海が見える住宅街がいいな。今から夢が膨らんでいます。

【その他の取り組み】

- ▶ 施策⑲ おっぱい都市基本構想の策定
- ▶ 施策⑳ おっぱい都市宣言の普及・啓発
- ▶ 施策㉑ 子ども家庭課の設置と総合的施策の展開
- ▶ 施策㉒ 産院・小児科医や関係機関との連携

未来戦略Ⅱ 『自然敬愛都市推進プラン』

戦略の目標

自然を愛し、創造していく心を育み、自然敬愛の精神を一人ひとりが心に刻み、ともに考え、ともに実践する「自然敬愛都市宣言」のまち

戦略展開の方針

私たちは、自然に生まれ自然から限らない恩恵を受けて、豊かでうるおいのある生活を営んできましたが、利便性や効率性を重視した社会・経済活動の結果、自然の破壊が進み、生態系そのものが崩壊の危機に面しています。

こうした中、本市では、平成18年2月、自然と人との共生を目指しつつ、自然を愛し、自然を創造していく心を持って「自然敬愛」を実践する「光市自然敬愛基本構想」を策定するとともに、全国で初めての「光市自然敬愛都市宣言」を行いました。

この構想と都市宣言は、本市のかけがえのない豊かな自然環境を守り育て、次世代へと引き継いでいくことを誓う私たちの強い想いを結集したものであり、この宣言を契機として、山・川・海といった自然に対する意識をいっそう高めるとともに、市民との共創と協働による自然環境の保全と創造への実践活動を推進します。

また、自然敬愛都市宣言やその取組みを広く情報発信することにより、自然敬愛への自覚と意識の向上を図り、光市から全国へと自然敬愛を呼びかけていきます。

光市自然敬愛都市宣言 ～ 美しく すばらしい自然を次世代へ ～

わたくしたちのまち光市は、白砂青松の室積・虹ヶ浜海岸、市民や水鳥の憩いの場である島田川、また、原生樹林のある峨嵋山や神籠石のある石城山など、古来から先人たちが守り育ててきた水や緑の豊かな自然を有し、今日まで、はかりしれない多くの恵みを受け、健康で文化的な生活を築いてきました。しかし、現代社会がもたらした地球環境の悪化は、わたくしたちにとって、緑や生態系の破壊、異常気象など重大な問題を生じさせています。

わたくしたちは、こうした問題を深刻に受け止め、山や川、海の多様な生物の生態系保全とともに、自然と共生できる社会の実現に努める必要があります。そして、わたくしたち市民一人ひとりが光市の財産であるふるさとの豊かな自然環境を守り育て、次世代へ引き継がなくてはなりません。

美しい山・川・海を有するわたくしたち光市民は、その恵みに感謝し、自然を敬愛し、自然の摂理にかなった、快適でうるおいとやすらぎのあるまちづくり、ふるさとづくりを進めることを、ここに宣言します。

- 1 自然の偉大さ、やさしさ、きびしさを知り、自然に学びふれあい、豊かな心を育みます
- 2 美しい緑、清らかな水、さわやかな空気のもと、ふるさとのかけがえのない自然を創意と工夫をもって守ります
- 3 自然を敬愛する心を養い、はかりしれない自然の恵みに感謝します

平成18年3月23日

山口県光市

光市はこんなまちを目指します …私の夢・みんなの願い

施策の展開例

光の自然を次世代に残していきます

今年も子どもたちと一緒にクリーン光大作戦に参加しました。台風で漂着したごみもあっという間にきれいになり、20年前に父と植えた松林も太陽の光を受けて喜んでいるようです。この白砂青松の海岸は私たちの誇りです。

【自然の保護・保全】

施策① 白砂青松10万本大作戦など植樹活動の推進

施策② 自然環境保全地域等の指定と保全活動の展開

施策③ 自然海浜の再生とクリーン光大作戦の推進

施策④ ひかり名木百選の選定

まちの風景が変わったね

昨年、私たちが一緒になってアイデアを出した公園が完成し、地域のみんなで清掃活動が続けています。最近、道路のごみや雑草も少なくなり、朝の散歩は、すがすがしい気持ちにさせてくれます。子どもたちは主人と一緒に里山のブランコづくりに出かけました。

【潤いある都市環境の創出】

施策⑤ 景観計画の策定と景観条例の制定

施策⑥ アダプト・プログラム（里親制度）の推進

施策⑦ どんぐりランドの整備

施策⑧ 里山再生プロジェクトの推進

自然から元気をもらっています

最近、太り気味で。保健師さんから健康ウォーキングを勧められ、あいぱーくから冠山総合公園の中を森林浴をしながら歩いています。往復で30分、100kcalが消費できるんですよ。慣れてきたら萩の平まで頑張ろうかなと思っています。

【自然とのふれあいによる健康増進】

施策⑨ 健康ウォークやオリエンテーリングの推進

施策⑩ 森林浴、飛沫浴、海浜浴の推進

施策⑪ 石城山神籠石散策道の整備

施策⑫ 伊藤公の森周辺整備

大地の恵みに感謝しています

朝靄の中、こうべをたれた稲穂がひとすじの朝日を浴びて黄金色に輝いています。

自然から沢山の稔りと充実感をもらうこの季節、心から幸せを感じています。小川のせせらぎや山々の風景とともに、いつまでも残していきたい。

【豊かで美しい田園環境の再生】

施策⑬ 農地の保全と田園風景の再生

施策⑭ 農地・水・環境保全向上対策の推進

施策⑮ 魅力ある農業の推進と担い手の育成

施策⑯ 田舎暮らしの推進と都市住民との交流と連携

生き物も暮らしやすい共生のまちです

今年もホタルが飛び始めたよ。ホタルマップにも近所の小川が載ってるよ。どこが一番か見に行ってみようよ。

川の掃除をする時は大変だったけど、きっと、僕達の小川が一番だよ。

【その他の取り組み】

施策⑰ 自然敬愛都市宣言や実践活動の情報発信

施策⑱ 森林・樹木・生物などの環境マップの作成

施策⑲ 親と子の水辺の教室など、環境学習の推進

施策⑳ 河川再生プロジェクトの推進

未来戦略Ⅲ 『安全・安心都市推進プラン』

戦 略 の 目 標

災害に強い都市基盤と人々の支えあいや助け合いにより、子どもからお年寄りまで、すべての市民が安全で安心して暮らせるまち

戦略展開の方針

安全で安心できる暮らしを営むことは、市民共通の願いです。

しかしながら、全国的に地震や台風などの自然災害に加えて、犯罪の凶悪化、低年齢化や子どもたちを狙う犯罪の増加、さらには、悲惨な交通事故が多発するなど、急速に市民の不安感が高まっています。

また、新型インフルエンザやアスベスト被害などの健康問題や消費生活に関する問題など、市民生活を取り巻く様々な場面で新たなリスクが生じています。

こうした中、今そこにある危機、そして、将来起こりえる様々な危機に対して、可能な限り回避・低減を図るとともに、市や関係機関のみならず、地域や市民とが一体となった地域の力を結集することにより、様々な危険や不安から市民生活を守る安全・安心都市の構築を目指します。

このため、安全・安心な都市基盤の整備を推進するとともに、あらゆる危機に対応できる危機管理体制の構築を進めます。

特に、暮らしの安全と安心は、行政のみで確立することは困難です。「光市安全安心まちづくり条例」の理念のもと、市民や地域と一体となった総合的な取組みを展開するとともに、地域におけるネットワークの構築により、子どもからお年寄りまで、全ての市民の安全が確保され、安心して暮らせる社会の実現を目指します。

さらに、職場を中心とした生活スタイルや他人への無関心などにより、地域社会の中で孤立感や不安感を感じる人が増加する中、生涯を安心して暮らせる社会の構築に向けて、他人を思いやる心を育成するとともに、地域や家庭でお互いを気にかけて、「目線を合わせ、言葉を交わす」ふれあいと助け合いのまちづくりを推進します。

光市はこんなまちを目指します …私の夢・みんなの願い

施策の展開例

災害に強いまちに暮らしています

自宅をリフォームするため、インターネットで調べていたら、光市は防災のまちづくりを進めていることを知りました。道路や施設を整備するときにオープンスペースを取ったりして、もし地震が起こっても安心して避難することができそうです。少しお金がかかるけど、耐震や防火面も含めた改築を考えています。

【防災機能の強化】

- 施策① 治山治水や災害に強い都市づくりの推進
- 施策② 防災行政無線の整備と消防救急無線のデジタル化
- 施策③ 災害等応援ネットワークの構築
- 施策④ 防災機関の連携強化

市民ぐるみで助け合っています

私の会社では、市との災害協定に加えて、地域との災害協定を結びました。防災訓練に参加することで、社員の安全意識も高くなり、自主防災組織にも積極的に参加しています。これからも地域に根ざした事業所として、安全で安心なまちづくりに協力したいと思っています。

【災害発生時への備え】

- 施策⑤ 自主防災組織の育成と災害時要援護者支援体制の確立
- 施策⑥ 災害時避難等マニュアルの作成
- 施策⑦ 防災・防犯情報携帯メールサービスの実施
- 施策⑧ 国民保護計画の推進

見守りの輪が広がっています

昨年、定年を迎えました。友人に誘われて、見守りボランティアに参加しています。
ご近所との会話の機会も増えて、子どもたちの笑顔を見るのが生きがいになっています。
これからは、自分が暮らすこのまちが活動の舞台です。日本一安全なまちにしてみせます。

【防犯・交通安全対策】

- 施策⑨ 安全安心ネットワークの育成と見守り活動の促進
- 施策⑩ 地域安全情報の提供
- 施策⑪ 安全な交通基盤の整備
- 施策⑫ 飲酒運転の撲滅と交通安全意識の高揚

いつも気にかけてくれる隣人がいます

夫に先立たれ、今は一人で暮らしています。子どもたちも都会に就職し、これから先、どうしていいのかわからない毎日を送っていました。
でも、近所の奥さんや子どもたちが、いつも声をかけてくれて、台風の時も一緒に避難してくれました。まちの人みんなが家族のようです。

【心の安心と共生社会の構築】

- 施策⑬ 世代間交流の促進と助け合いの福祉意識の醸成
- 施策⑭ いじめや差別の根絶と人権意識の高揚
- 施策⑮ 高齢者や障害者への援護体制の構築
- 施策⑯ 権利擁護事業の推進

安全で新鮮な野菜は私が作っています

無農薬栽培を始めて10年経ちました。生産者の名前を載せることで消費者の皆さんにも好評で、先日、消費者団体からも表彰をいただきました。
これからも責任を持って、安全でおいしい野菜を提供していきます。

【食の安全・消費生活の向上】

- 施策⑰ 食品の検査・監視体制の強化
- 施策⑱ 地産地消の推進等による安全な食材の提供
- 施策⑲ 消費者団体の活動支援
- 施策⑳ 消費生活相談機能の強化と消費者啓発の充実